

令和元年度大船渡市社会教育委員定例会議録

1 開催日時及び場所

○日時 令和2年2月12日(水) 午前10時から午前11時55分まで

○場所 大船渡市防災センター 防災研修室

2 委員数 15名

3 出席者

○社会教育委員 13名

志田秀香、吉田満、伊藤英子、森田裕子、白木澤隆博、佐藤次夫、新沼幸夫、佐藤叶、
金野みゆき、佐藤優子、三浦素子、金一磨、佐藤利康

○事務局 10名

小松伸也教育長、金野高之教育次長

生涯学習課：課長 熊谷義男、課長補佐 新沼裕一、係長 森崇、係長 木村亮

中央公民館：館長補佐 吉田清喜、係長 木川田舞

博物館：館長補佐 鈴木康司

図書館：館長 金野優子

4 報告

報告第1号 令和元年度生涯学習事業の実施状況について

5 議事

議案第1号 令和2年度社会教育関係団体への補助金交付について

議案第2号 令和2年度生涯学習事業計画(案)について

6 会議の概要

生涯学習課新沼課長補佐の司会により開会し、小松教育長のあいさつの後、金野教育次長から社会教育委員及び社会教育関係職員の紹介を行う。

議事に入るにあたり、以降は、会議運営規則第6条の規定により、伊藤英子議長が進行。

(伊藤議長)

- ・次第4．報告に入る。報告第1号 令和元年度生涯学習事業の実施状況について、事務局から報告をお願いする。

(生涯学習課長)

- ・別添資料により、生涯学習課、中央公民館、博物館の所管事業の令和元年度実施状況について、報告する。

(図書館長)

- ・別添資料により、図書館の所管事業の令和元年度実施状況について、報告する。

(伊藤議長)

- ・報告事項について、質問、意見を求める。
- ・質問、意見がないことを確認後、次第5．協議に入る。議案第1号 令和2年度社会教育関係団体への補助金交付について、事務局から説明をお願いする。

(生涯学習課長)

- ・別添資料により、社会教育関係団体への補助金交付について、説明する。

(伊藤議長)

- ・報告事項について、質問、意見を求める。

(三浦委員)

- ・地域公民館整備事業費補助金について、すでにどの公民館が決まっているか。

(生涯学習課 木村係長)

- ・いくつかの地域公民館から昨年からの相談を受けており、地域の負担もあることから、はっきりと計画が決まっていない地域が多い。その中で、計画が固まってきたところから整備をすることになり、現在、計画が具体化しているのは、後ノ入地域と千歳地域であるため、その2館を想定している。

(森田委員)

- ・昨年度の芸術文化協会の要望活動で補助金の増額があったようだが、その対応は。

(生涯学習課 木村係長)

- ・令和元年度と令和2年度の補助金額は同額であるが、令和元年度に平成30年度と比較し増額している。なお、増額分については、芸術文化協会の事務局でインターネット回線が未整備であったことから、回線をつなげたところであり、ホームページの開設等により情報発信の強化を考えている。

(伊藤議長)

- ・報告事項について、その他、質問、意見がないことを確認後、議案第2号に入る。議案第2号 令和2年度生涯学習事業計画(案)について、事務局から説明をお願いする。

いする。

(生涯学習課長)

- ・別添資料により、生涯学習課、中央公民館、博物館の所管事業の令和2年度事業計画について、報告する。

(図書館長)

- ・別添資料により、図書館の所管事業の令和2年度事業計画について、報告する。

(伊藤議長)

- ・報告事項について、質問、意見を求める。

(佐藤次夫委員)

- ・市民芸術祭について、各地区公民館で文化祭を開催している。各地区公民館では、運営費補助金の中で文化の継承、発展の活動を行っている。三陸地区文化祭には、補助金が出ているようであるが、各地区公民館の文化祭についても、補助金は考えられないものか。

(生涯学習課長)

- ・市民芸術祭については、実行委員会に補助金を交付している。その中で、各部門の舞台発表や総合美術展、三陸地区文化祭に補助をしている。補助金の増額はなかなか難しいところである。今、地域づくりということで地域運営組織をつくる中で、地区公民館への補助金の見直しも検討中であり、地区のあり方、地区の活動を踏まえ検討していきたい。

(佐藤次夫委員)

- ・文化というものは大事なものであると感じている。令和2年度以降については、できれば各地区公民館の運営費補助金の積算の中に文化祭開催費用も加味していただくとうありがたい。

(金委員)

- ・青少年体験学習で今年度の反省の中で中学生対象の英語スクールが定員に達しなかったとあるが、来年度も実施予定とある。何か対策や考えがあるか。

(中央公民館 木川田係長)

- ・昨年度からの新規事業であり、昨年度も定員割れであったことから、周知方法を学校へのチラシ配布のみならず、広報掲載により強化を図ったが、申し込みが少なかった。開催時期が入試準備時期であったことなどが原因と考えられ、今後のあり方を含め、周知方法や実施時間等、検討していきたい。

(伊藤議長)

- ・図書館の読書会について、大人の読書もこれから大事だと思う。テレビで大人が本を音読する、みんなで読みあうというのを見ておもしろいと感じた。読書会の内容について検討すると思うが、一つ考えに入れてもらえばと思う。

(図書館長)

- ・読書感想文コンクールの代替えとなる事業として様々検討しているところであるが、参考にしたい。

(伊藤議長)

- ・報告事項について、その他、質問、意見がないことを確認。
- ・各委員から日頃感じていることを一言ずつ発言をお願いします。

(志田委員)

- ・図書館で本を借りる機会が多いが、図書が古いと感じる。もう少し市民が読みたい本を把握し、読書推進が図れないか。読みたい本がタイムリーに入っていないので検討をお願いしたい。

(図書館長)

- ・新刊図書は年間約 3,000 冊、様々な分野にわたり、バランスよく購入しているが、もう少しアンテナを高くしていきたい。利用者からもリクエストを承っているのですが、おすすめ本があればリクエスト頂けるとありがたい。

(吉田委員)

- ・東京 2020 オリンピック関連事業について、もう少し詳しく説明願う。

(生涯学習課長)

- ・一つは、復興ありがとうホストタウンに大船渡市になっており、昨年からは様々な事業を進めており、令和 2 年度は相手国であるアメリカと、オリンピック終了後、選手の派遣を約束し、小中高生、陸上関係者と交流する計画となっている。
- ・ジャズコンサートについては、発祥がアメリカということから、札幌領事館からご推薦いただき、昨年度から開催しているところであるが、継続して実施したいと考えており、トリオバンドが 4 月中旬に来る予定となっている。アメリカの文化に触れる機会としている。
- ・3×3 バasketボールについても、地元の愛好者、協会と協力しながら 2 回目の開催を行いたい。
- ・今年度、間もなく、聖火がギリシャから出発し、福島に届く。そこから聖火リレーが始まるが、それに先立ち 3 月 23 日におおふなとぼーとで聖火展示のイベントが実施される。聖火リレーが 6 月 18 日にキャッセン周辺にて実施される。

(森田委員)

- ・昨年度の会議で補助金の額について、数字が見えないままとなっており、気になっていたが、今回、数値的な説明もあったので、昨年度の会議での意見を受け止めてもらえたと感じた。また、金額を知ることで、各種事業の活動がさらにリアルに見えてくるものがあると感じることができた。
- ・様々なイベントがある中で、後で知ることがあり、どこから情報を得ればよいのか感じる。自分から意識的に情報収集しなければならないと感じるが、主催者側でも広報だけでなくもっと良い方法がないものか心にとめておいてほしい。

(白木澤委員)

- ・少子高齢化の話があり、学校統合もあり、子供の数は増えることはないと思うが、その中で、学校に行けなくなっている子供たちの居場所、活動の場所について、学校教育の充実ということで手を差し伸べていただけるとありがたい。地域に情報を出していただき、協力依頼があれば、いつでも協力できる体制があるのでよろしく願います。

(佐藤次夫委員)

- ・初めて会議に参加したが、内容にもよるが、会議が年1回で良いものなのかと感じた。
- ・資料に膨大な事業が掲載されているが、組織改編もあるようで、一部廃止する事業もあるようだが、組織改編と併せて、全体事業の構築を検討してみたいかがか。

(新沼委員)

- ・ポートサイドマラソンが今年度で終了するが、それに代わる事業は考えていないか。復活の可能性はいかがか。
- ・私はスポーツ推進委員の立場であるが、スポーツ推進委員は統一のジャージで対応しているが、私費で購入している。ジャージの購入費を予算化できないものか。
- ・公民館選出の委員は参加率が悪い。公民館に働きかけるとしてももっと力を入れて対策を講じてほしい。
- ・青少年の健全育成について、少年補導等の人数が65人というのはどんなものか。というのは、昨日のニュースでやっていたが、中学生がスマホで撮影したものをラインで仲間と共有している。学校ではスマホの利用について、規制をかけているか。

(生涯学習課長)

- ・ポートサイドマラソンに代わるものということで新しく大会を開くという方向性は出ていない。今後、関係者と協議して新しい大会を開催するという話が出れば協

議が進むが、当面は新春四大マラソンをもっと充実し参加者を増やしていこうと考えている。

- ・統一ジャージを揃えるのが理想であるが、予算の確保が難しいが、今後も実現に向けて取り組んでいきたい。
- ・公民館選出委員については、各地区でばらつきがあるのは認識している。お願いする段階で、役目があるという認識について、地区に説明しながら推薦いただくように考えている。

(教育長)

- ・スマホの規制については学校でやっている。市内の中学校、市の校長会、教育委員会でスマホの使い方のパンフレットを作成し配布されている。家庭でのルール作りもやられている。しかし、家庭での見えないところでの使用については、後になってラインでの誹謗中傷の事案が出てきたりなど、生徒指導上の問題となっている。これについては、学校教育の中で問題として取り上げており、継続して検討していきたい。

(佐藤委員)

- ・2013年から東京藝術大学デザイン科で大船渡小学校、谷中小学校とタイアップして一つの作品を作るというテーマで地域を見直すという活動を始めた。昨年も大きなイベントを行い、定着しつつあるが、子供たちに普段の図画工作の必要性について、デザイン科の先生から将来、大きなくくりだとまちのグラフィックデザイン、小さいくくりだと鉛筆一本のデザインから始まるということをお話いただき、子供たちに響いていた。

(金野委員)

- ・復興「ありがとう」ホストタウン事業の中の読み聞かせイベントは、会場はどこで行われ、参加した園はどちらか。

(図書館長)

- ・会場は図書館で、参加は海の星幼稚園の園児。調整の時期が限られており、近いところ、送迎可能なところから選んだ。

(金野委員)

- ・生の英語の読み聞かせはすごく良い体験なので良いイベントと感じた。これから小学校でも英語が必修となることで、小さいうちから生の英語に触れさせたい。少しでも小さいうちから英語に触れられる機会があると良いと考えているので、英語の先生を紹介いただければありがたい。

(三浦委員)

- ・私は芸術文化協会から参加しているが、市民芸術祭の総合美術展の際に華展の展示台が非常に重く、組み立ての際に脚が危険である。脚の組み立ての釘などを吟味してほしい。

(佐藤優子委員)

- ・婦人団体連絡協議会から参加しているが、会員数が減少し、たくさんのイベントがある中、参加しかねているが、今後できる限り出席や協力をしたい。

(金委員)

- ・私は企業に勤めており、毎年、若い方が入社してくるわけだが、中にはのこぎりも使えないなど、私たちが常識だと思っていることができない人が結構いる。片や、私たちは、家の中にはおじいさん、おばあさんという知恵袋的な存在がおり、色々な話を聞き、育ってきたと思う。今は、施設に入ったり、デイサービスを利用し、近所でお茶を飲む機会すらない。お年寄りの方から若い人に知恵を伝授するような機会も必要なのではないか。世代で考え方が全然変わってきているので私たちも併せていかないと感じてきているが、もっと世代間交流の場を作ってほしいと思う。

(佐藤利康委員)

- ・小学校から参加しているが、芸術鑑賞事業では、一流の演劇を子どもたちに見せていただき感謝している。子どもたちには当たり前と思わず、感謝の気持ちを持ち続けさせたい。
- ・図書館の見学、博物館スクールも子どもたちが楽しみにしている。
- ・運動公園のトイレ更新はありがたい。陸上競技会でもよく利用しているのできめ細かい配慮に感謝したい。
- ・英語学習に関して、話題がよく出ていたが、社会教育委員の方々も関心が高いと感じた。学校でも小学校3年生から教科として勉強が本格化するが、英語のイベントは、小学校3年生から6年生まで、興味・関心が高い世代だと思う。打てば響く世代であり、英語関連のイベントがあると英語に親しみたいと感じている子どもたちがたくさんいると思うので、今後も検討いただきたい。

(伊藤議長)

- ・以上で議事を終了し、以降の進行を事務局にお願いする。

次第6. その他に入り、各委員から特にないことを確認し、事務局から別紙資料により、組織体制の改編(案)について説明し、閉会。